

AMAMI MAP

天見地域まちづくり協議会
2016年3月発行

時はうつり、歳月がながれても
純真な人情と清楚な自然はかわらず。わがふるさと天見。
いにしえから語り継がれる地域の魅力をもっと伝え、もっと愛着がもてる
そんなまちづくりを目指して。

山を
歩く



自然を
走る



なつかしい風景に、
心いやされる



天見
小学校



児童募集

*募集期間は11月上旬～12月中旬

自然環境を満喫できる
体験活動をたっぷり!

おもいやりの心を育てる
6学年までのたてわり班活動

1学年20人までの少人数学級で
きめ細やかな学習指導

オープンスクール

11
月上旬

河内長野市内在住などからでも通える
小規模特認校「天見小学校」を体験しよう!
申し込み・問い合わせは下記まで。

河内長野市立
天見小学校

河内長野市天見2370-1
☎ 0721-68-8004



MAPで
てくてくてく

めずらしい形のカフェ&自転車の基地。メンテナンスもOK 河内長野駅から徒歩6分

レンタサイクル1day 1,000yen

ACT WITH BICYCLE and PIZZA

河内長野市本町5-10 メルベーユ1階 A号

☎ 0721-69-5370

10:00～21:00 (L.O. 20:30) 定休:水曜日
www.facebook.com/actwithjp 第2・4・曜



歴史を
ふりかえる

下天見エリア

- 12 松明屋**
空海が松明を照らして高野山へと向かう道中、この家で休息。朝食のもとを頂き、お札にチマキの製法を教えた。別荘に松明の燃え残りや軒端の地上に突き立てた。その後その松明が芽を出して、大木になったといわれている。
- 13 南天苑**
(国の登録有形文化財)
東京駅を設計した辰野吾郎設計事務所により堺市大浜公園に建てられた建物を、昭和10年に移築。昭和初期の和風近代建築の特色を残している。
- 14 出合ノ辻**
南北朝時代の古戦場跡(安濃川の合戦)。楠木正成軍と鎌倉幕府軍がここで出合い、激しい戦いが繰り広げられたといわれる歴史スポット。

- 15 地藏堂**
数少ない北向き地蔵で、河内国第2番霊場。6月下旬に地蔵盆を行っている。
- 16 八幡神社(石清水八幡宮の別宮)**
石清水八幡宮の別宮で、同社の御神体を勧請し、祭神は応神天皇、神功皇后、神武天皇御母(玉依姫命)。1月上旬には勧請掛軸。7月上旬には湯立神事が行われる。10月上旬の秋祭りでは、宵宮に提灯行列。翌日本宮に氏子が神輿をかづき、町内に繰り出し祝う。

上天見エリア

- 17 安明寺**
真言宗密部派地蔵寺末寺。本尊は大日如来。西脇に不動明王と弘法大師像が祀られており、本堂内に安置されている。十数体の木彫りの仏像もあり。
- 18 蟹井神社**
祭神は神武天皇、応神天皇、神功皇后。神社の秋祭りは10月上旬に、宵宮は提灯行列、湯立て神事、翌日本宮は氏子たちが神輿を繰り出し祝う。
- 19 島の谷の観音さん**
古くより地元の守り仏として祀られている。お堂の中には、観世音菩薩と地藏菩薩の2像が安置されている。
- 20 遣り水の不動尊**
紀伊峠から天見に下ると、小さな滝に不動尊が祀られている。水源があり、紀州側の紀伊峠地区の生活用水になっていることから「遣り水」と呼ぶ。

流谷エリア

- 21 薬師堂 22 十三仏**
流谷の奥にある薬師堂。ここは昔の月輪寺というお寺の跡であるという。その中に十三仏がある。十三仏とは、初七日から三十三回忌まで13回の追善供養行事に、各々あてられた仏や菩薩の称である。初七日の不動明王から、三十三回忌の虚空蔵菩薩までの仏や菩薩の称である。また、十三仏に刻まれた戒名の中に、カタカナが見られることから、キリストンの洗礼名ではないかといわれている。
- 23 流谷金剛童子(葛城第十六経塚)**
岩湧寺より山の上盤を行く道に古記あるごとく、所々川中に不動尊と、大の石にシメを引き祭る。役行者の御勧請にして、十六尊として尊崇し奉る。
- 24 観音堂**
8月下旬、観音さんのお祭りを近所の人々が集まり、お供え物をしてみんなで祀る。



四季折々、彩る花々
風景をめぐるひと時

下岩瀬エリア

- 1 奉建塔2基と地蔵尊5体**
[Image]
- 2 ソタ峰越**
「ソタ峰越」と呼ばれる観心寺と岩瀬を結ぶ道。近世には一丁ごとに道標地蔵があったといわれ、現在は2体が確認されている。
- 3 菅原神社**
[Image]
- 4 薬師寺**
本尊は薬師如来。南北朝時代には観心寺末寺だった。8月8日薬師寺奉り、年1回の本堂開帳(薬師如来・大日如来・釈迦如来・不動明王・毘沙門天)がある。
- 5 石造五輪塔(府指定文化財)**
南北朝時代、暦応4年(1341)、河内長野市内では最古の五輪塔。砂岩製で高さ106cm。正面に「地・水・火・風・空」を意味する梵字が刻まれている。

上岩瀬エリア

- 6 御所の辻の地蔵尊**
ある皇族の姫が道中にこの付近でお休みになり、突然姿を消したまま見つからず、菩提を弔うためにお堂を建てて地蔵尊をお祀りした。また、後村上天皇が吉野の賢名生から天野山金剛寺へお移りの時、一泊されたことから「御所の辻」と呼ぶように。屋根の瓦や線香立てに菊の紋章がある。辻の道標には「右かや」の方向を示している。地蔵尊は立ち地蔵で、8月24日に地蔵盆が行われている。
- 7 塞の神**
境界守護の神として、集落の入口にあり、外部からの邪霊が侵入することを防ぐ。また夫婦和合の神 - 狼田彦神とされている。
- 8 上岩瀬農産物加工組合「友邦」**
地域の主婦が集まり、おもちやジャム、佃煮などの加工や特産品の製造・販売している。週末(金土日)には数量限定の手作りお弁当も人気。

清水エリア

- 9 清水井**
一説によると弘法大師加持水として、近在の信者はもとより、諸國の旅人もこの井戸水をいただいた。現在は、国道371号線の側面に形を残す。
- 10 清水神社**
菅原神社(天神社)が祀られていたといわれる。明治時代に三日市赤坂上乃山神社に合祀されていたが、現在は清水神社として祀られている。この場所に日輪寺という寺もあったが、明治5年頃に廃寺し、第九番小学校として使われた。のちに地元の子どもたちが通う清水小学校となったが、天見小学校との合併により、閉校となった。
- 11 地蔵寺**
九華山地蔵寺と号し、清水エリアの西南部にあるお寺。元禄4年(1691)蓮体和尚が中興開山した。本尊延命地藏菩薩、弘法大師像、四天王像(仏師蓮長作)、薬師明王などの仏像が安置されている。本来の山号は「玉井山」とい、享保2年(1717)に築かれた本多伊予守忠統公により「九華山」と改名された。またトギスが軒近くまで訪れる景勝の地である。秋は紅葉がとても美しい。

オススメルート

里山をあるくサイクリング歴史コース

標高スポット

自転車歩行者専用道路

信号

押しボタン式信号